

BISHOPイメージ

**BISHOPの
利用者**
(フォーラム会員)

漁業者・漁協

水産加工業者

流通業者

養殖業者

食品メーカー

製薬企業

化学メーカー

行政機関

研究・教育機関

金融機関・その他

**BISHOP
産業振興・
環境保全への
利活用イメージ**

サクラエビ等の 資源量把握

環境DNA等のデータを基に、駿河湾のサクラエビ資源量の予測・見える化（他魚種の資源管理にも展開）。

養殖技術の開発 (養殖魚の健康管理)

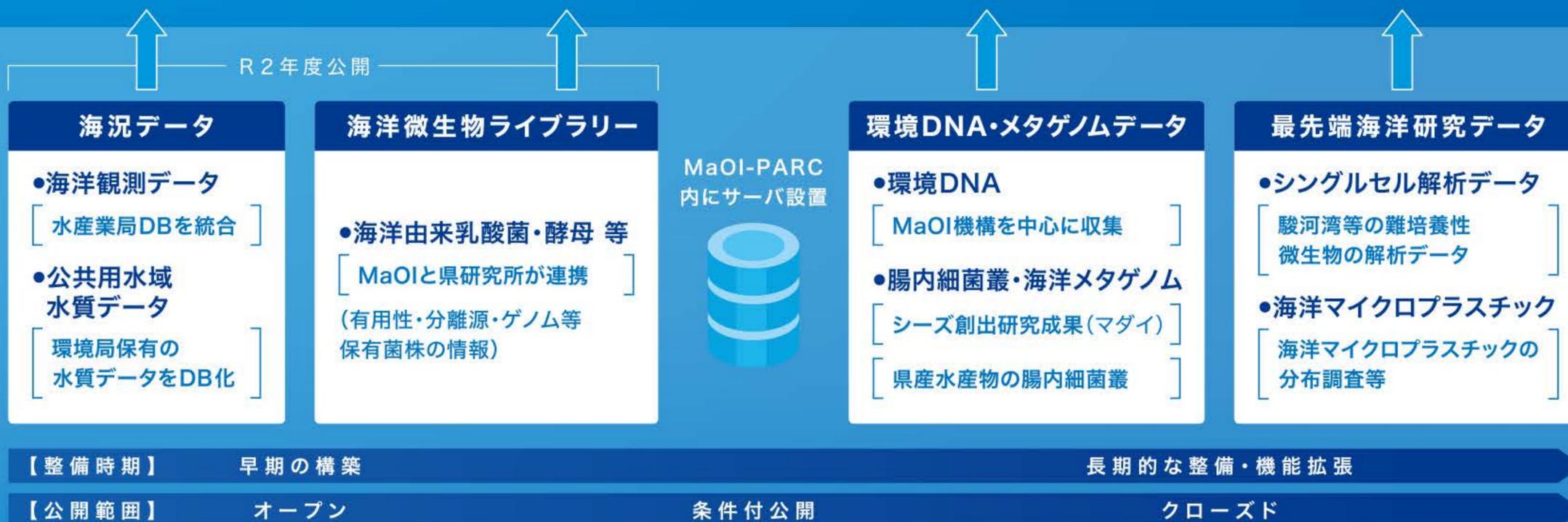
養殖魚の腸内細菌叢や生簀の環境データ等を基に、健康な養殖魚の生産・ブランド化や新たな養殖技術の開発。

海洋微生物の産業利用 (食品・創薬・素材)

海洋由来の有用微生物を用いた発酵食品・機能性食品開発、深海等の極限環境から採取した微生物の創薬等への活用。

海洋環境保全の 政策立案

駿河湾等の特性や海洋環境・汚染の状況把握による新たな知見の獲得と環境保全政策の立案・検証への活用。



BISHOPのデータの研究開発への活用

研究データのBISHOPへの登録

**BISHOP
コンソーシアム**

**BISHOPと連携する
大学・研究機関等の
ネットワーク**

全体総括：五條堀研究所長
事務局：MaOI機構

※テーマ毎コンソーシアム内に
グループを形成

ライブラリー 推進グループ

海洋生物資源ライブラリーの運用方法検討・整備
《想定メンバー》
○MaOI機構
○県水技研
○県工技研(本所・沼津)

eDNA 研究グループ

駿河湾等の海水から環境DNAの採取・分析・研究
《想定メンバー》
○MaOI機構
○県水技研
○早稲田大学 ほか

海洋マイクロプラスチック 研究グループ

海洋のマイクロプラスチックの汚染状況等の調査・研究
《想定メンバー》
○MaOI機構
○県水技研
○日本工学アカデミー
○早稲田大学 ほか

新たな グループの設置

県内産業界や水産業現場のニーズを踏まえ、BISHOPコンソーシアム内に新たなグループを適宜設置
《案》
県産水産物の全ゲノム解析グループ など

国プロジェクト
等への応募・参画
(研究の発展・高度化)

海外研究機関等
との連携
(国際的な情報発信)